



本郷台小 だより

10月

横浜市立本郷台小学校
令和5年9月29日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

子どもの言葉の中にみえるもの

校長 原 南実子

暑さが例年以上に続いています。子ども達が捨ってくるどんぐりや紅葉が始まった落ち葉を見ると、秋の訪れを感じます。校庭で一番はじめに紅葉するハナミズキは、赤く色づき始めました。

さて、9月も子ども達の様々な姿を見ることができました。🍁1年生は生活科で、むしとなかよしになる活動に夢中になって取り組みました。バッタやカマキリ、コオロギなど、台小農園でたくさんつかまえ、エサをあげたり住みやすいようにしたりと、親しみと愛着をもって関わりました。台小コンサートでは「ともだちになろうよ」という歌を歌い、全校からたくさんの拍手をもらいました。初めて全校の前に立った1年生です。🍁2年生は、国語で「あったらいいな、こんなもの」という作文を書きみんなで伝え合っていました。「トカゲと話せるマスク」「何を入れても軽いランドセル」など、想像力豊かに考えた友達の話を聞きながら「それいいね」と、共感し合う姿がたくさんありました。🍁3年生は、1組が取り組んでいる総合のシャボン玉の活動を春日神社のお祭りで披露しました。石ころアートに取り組んでいる2組は、前日、練習を見せてもらい温かい応援を贈りました。当日も応援に来てくれた子がたくさんいました。🍁4年生は台小コンサートで「U&I」という曲を披露しました。学年目標は「温♡ハート」。この曲のように自分たちの歌を聴いて温かい気持ちになってくれたらうれしい、と天使の歌声で聴かせてくれました。体育館から教室に戻るとき、まだ舞台にいる4年生にむかって6年生が拍手を贈る姿もありました。🍁5年生は、運動会で行う高学年演技と団体競技を何にするか、6年生との話合いに臨みました。「これまで5・6年生が受け継いできたソーラン節を、今年は5年生と一緒にやりたい。台小の伝統をつないでいきたい」という6年生の思いに心を打たれ、一緒に頑張りたいと決意を固めました。🍁6年生は、全校をリードする運動会にどう臨むか、どんな心意気をもって小学校最後の運動会を創り上げていくのかを考えていました。ソーラン節を5年生に教えるために自分たちがまず頑張る、という気持ちを持ち、筋肉痛になるほど練習を重ねています。🍁6・7・8組は9月の誕生会を協力して行い、順序を確かめながら材料を混ぜてクッキングしたり、役割を決めて遊びタイムを進行したりと、楽しい会をみんなで創り上げていました。

こうした学びの中で、子ども達は自分の学びを自覚していけるように振り返りを行っています。振り返ることで自分の学びの良さや次に生かすことを見つけたり、自信をつけて次へのチャレンジに向かったりしていきます。振り返りの子どもたちの言葉の中には、学びの足跡がみえます。主体的に取り組もうとする姿勢がみえます。人と関わることへの喜びがみえます。困難を乗り越え一生懸命取り組んだプロセスがみえます。子どもの言葉の中に様々な学びの姿、育ちの姿が表れています。われわれ大人は、そうした姿をしっかりと受け止め、励まし、学びを支えていきたいと思ひます。

🍁代表で、3年生のシャボン玉と4年生の台小コンサートの振り返りの言葉をお届けします。🍁

- ◆最初はうまくシャボン玉ができなかったけれど、「頑張れ！がんばれ！」とお客さんが言ってくれたらうまくできました。ショーが盛り上がり笑顔の人がたくさんいて、その笑顔を見て、またショーをやってみようと思ひました。みんなをもっともっと笑顔にしたい、という気持ちが湧きました。
- ◆シャボン玉ショーは、練習通り緊張しないでできました。それに技も成功したし、魅力を伝えられたかと思ひます。多くの方が拍手をしてくれたので嬉しかったし、練習の成果が出たんだと思ひました。
- ◆♪私は、声を大きくはっきりと歌うことを意識してやりました。4年生みんなで心が一つになった気がしました。コンサートを終えた後には4年生の気持ちが伝わったと思ひし、達成感がありました。これからは聴いている人に気持ちが伝わるように意識していきたいです。
- ◆♪自分たちの目標を達成するために、班で話し合っ、て、「いいのに～♪」のところまで息が続かないからここで息をしよう、とか、地声を混ぜよう、などと発言しました。特にクレシェンドや曲の山を意識すれば滑らかになり天使の歌声に近づけると思っ、たからです。ぼくは班の中で聞き役をしたけれど、話し合いの内容がいいので歌のうまさの成長を感じました。